

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者もしくは代諾者（保護者等）に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

| | | | |
|-------------|--|--------------|-----------|
| 研究課題名 | 後方固定術における Screw の固定力と矯正損失の関係 | | |
| 実施予定期間 | 承認日～ 2021 年 12 月 31 日 | | |
| 対象患者 | 当院にて胸腰椎移行部破裂骨折に対する後方固定術を受けた 15 歳以上の患者 | | |
| 対象期間 | 2017 年 6 月 1 日～ 2020 年 9 月 30 日 | | |
| 研究機関の名称 | 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 | | |
| 対象診療科 | 整形外科 | | |
| 研究責任者 | 氏名 | 神保 幸太郎 | 所属 整形外科 |
| 使用する資料等 | <p>診療情報より下記事項を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者情報：年齢、性別、病名、受傷機転、経過観察期間、重症度、椎体形成の有無、術中トルク値 観察項目：画像検査（X線、CT、MRI）、骨密度 | | |
| 研究の概要 | <p>脊椎骨折に対する後方固定術は確立された術式ですが、様々な要因のために術後の矯正損失が起こりえます。一般的にScrewの固定力が良いと矯正損失が少ないと考えられていますが、Screwの固定力を定量評価することが困難なことからその詳細は不明です。そのため、この研究では、Screwのトルク値を測定できるドライバーを用いてScrewの固定力を定量評価し、矯正損失との関係を調査します。</p> | | |
| 研究計画書等の閲覧等 | <p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。</p> | | |
| 結果の公表 | 学会や論文等で発表いたします | | |
| 個人情報の保護 | <p>個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。</p> | | |
| 知的財産権 | 聖マリア病院に属します | | |
| 研究の資金源 | 特にありません | | |
| 利益相反 | 研究結果に影響を与えるような利害関係はありません | | |
| 問い合わせ先・相談窓口 | 聖マリア病院 整形外科 神保幸太郎 | | |
| | 電話 | 0942-35-3322 | |